

令和元年度 木曽三川下流地区広域観光連携協議会

木曽岬やろまいマルシェ社会実験

報告書



令和2年2月

木曽三川下流地区広域観光連携協議会 事務局

木曽三川下流地区広域観光連携協議会 木曽岬やろまいマルシェ社会実験

開催日時：令和元年8月3日（土） 11:00～20:30

開催目的：伊勢湾台風を超えるような大規模水害等が起きた際、避難場所を設置し
周辺市町と連携を取るため、また、住民がいち早く情報を得ることがで
きるよう、木曽岬町内では全ての防災拠点への公衆Wi-Fi整備が進めら
れている。

本イベントは、会場全体を公衆Wi-Fiの空間とし、防災拠点での情報
伝達手段の確保の有用性や利便性の確認を行う場とするとともに、今後
の公園等公共施設への設備対応の基礎資料を得るため、アクセス件数な
ど利用実態を把握することを目的として実施した。

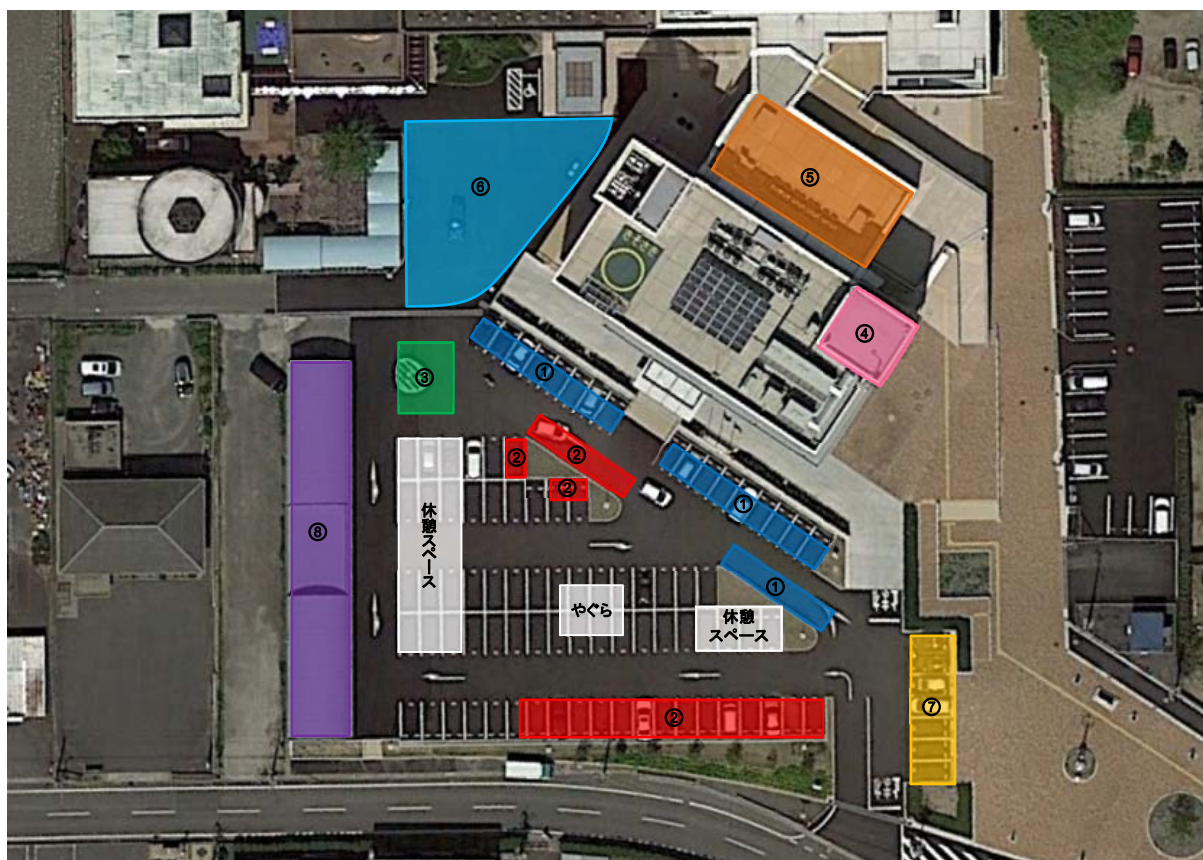
さらに、キャッシュレスの社会実験を併せて行い、公園等有料施設の利
便性向上や運営側の利点についての確認を行った。

主 催：木曽岬町、国土交通省中部地方整備局木曽川下流河川事務所

協 力：バンダイナムコエンターテインメント

マルシェ運営：モルタンマルシェ

開催内容：マルシェ、太鼓の達人、ドリフトトライク試乗会等



- ①マルシェ ②キッチンカー ③露店 ④太鼓の達人体験 ⑤プログラミングワークショップ
⑥ドリフトトライク試乗 ⑦木曽三川下流地区広域観光連携協議会ブース ⑧木曽岬町ブース

1. やろまいマルシェ

木曽峠町役場駐車場において、マルシェを実施しました。

キッチンカーでの食事、ハンドメイド市などの出店希望者を事前に募集したところ、34 店舗の応募がありました。

当日は天気にも恵まれ、気温が下がった夕方以降を中心に家族連れで多くの方に来場頂き、食事や物販を楽しむ姿が多く見られました。



マルシェの賑わい



夜のマルシェ



露店の様子



和太鼓実演

やろまいマルシェ開催にあたり、地域住民に周知するためのチラシ、ポスターを作成し、配布しました。また、くわな新聞社に協力頂き、広告を入れて頂きました。これらの広報で今回のイベントを知ったという方が多く、広報手法として有効であることが示されました。

その結果、約 3,000 人の方に来場頂き、好評が得られました。

Wi-Fi 空間の設定については、(株)CTY に協力頂きました。屋内 1 箇所、屋外 3 箇所にアクセスポイントを設置して、会場内どこからでも接続できる環境を整備しました。

公衆 Wi-Fi の利用について、アンケート結果からはほぼ半数の方が普段から利用しているとのことでしたが、今回の来場者のうち、Wi-Fi へのアクセス数は 360 人（屋内 138 人、屋外 222 人）であり、来場者数の約 1 割程度でした。屋外については、設定の不具合により、一時、接続できない時間帯もあったことから、アクセス数が伸びなかったものと考えられます。また、「接続方法がわからなかった」「接続する必要がなかった」という意見や、セキュリティに対する不安意見もあり、利用者数の拡大、さらに防災時の活用を目指していくには課題がまだ多いことが示されました。



Wi-Fi ログイン画面



Wi-Fi 案内表示

物販では、PayPay によるキャッシュレス決済も導入しました。PayPay で決済すれば割引になる特典もありましたが、結果的に今回利用した人は1割以下でした。

アンケート結果によると、もともと登録者数が少なく（8割が未登録）、今回の社会実験で新たに登録した人も1割に満たない状況でした。また、今後の利用についても「わからない」という方が最も多く約4割を占めており、普及に向けては安全性等の面を含め、まだ課題が多いことが示されました。

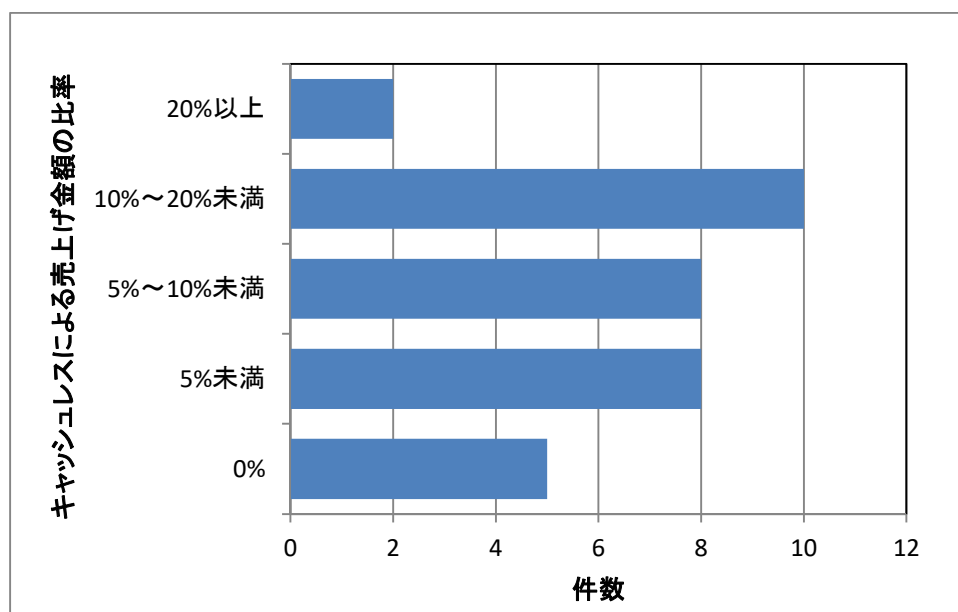


キャッシュレス利用（PayPay）による特典の案内

出店者については、これまでもキャッシュレス決済を導入していた店舗が約8割で、残りの約2割が今回初めて導入したようでした。

今回の社会実験におけるキャッシュレス決済での売り上げ件数、売り上げ高は223件（約14万円）で、全体が2,615件（約198万円）であったことから、キャッシュレスの使用比率は件数ベースで8.5%、金額ベースで7.3%となりました（出店者アンケート結果による：全体件数は未回答有り）。ただし、店舗によっては、キャッシュレスの売り上げが40%を超える店舗も見られ、10%を超える店舗が1/3にあたる11店舗見られました。

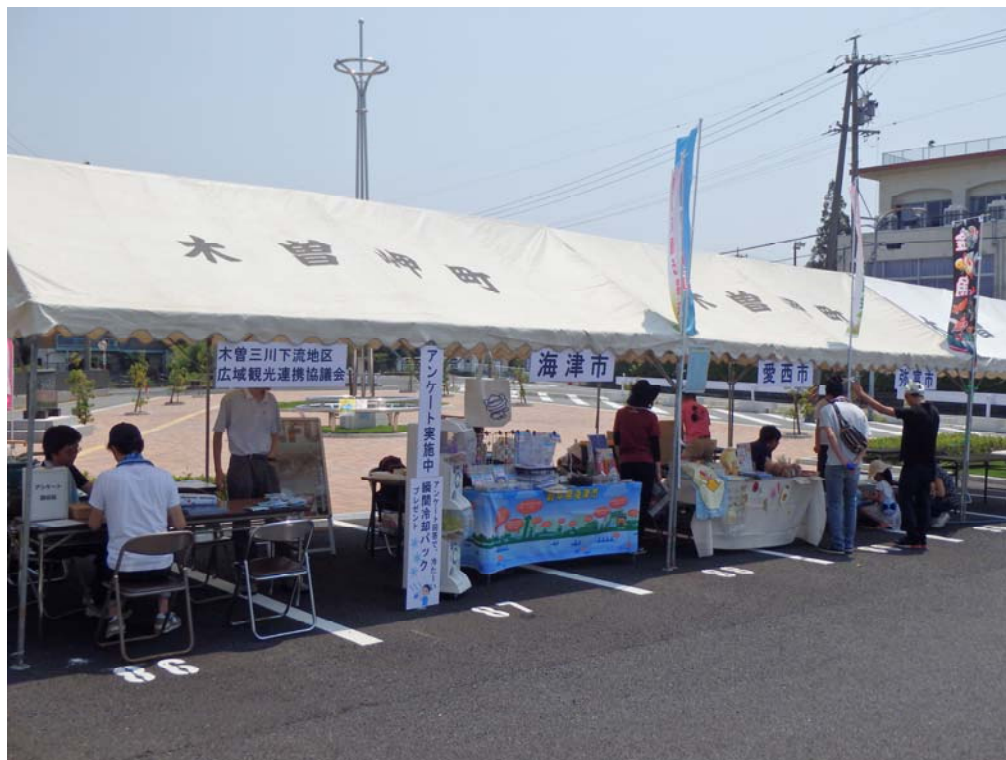
出店者の意見として、キャッシュレスにすることで現金のやり取りがない分手間が省ける、おつりの準備がいらない、といったメリットがあるようでした。改善点としては、まだ浸透していないので普及率を上げることが必要といった意見が多く得られました。



キャッシュレスによる売上げ金額の比率
(出店者アンケート結果による)

会場内には、木曽三川下流地区広域観光連携協議会のブースも設置し、沿川市町の特産品の販売や、来場者へのアンケート調査を行いました。アンケート調査では、72名の方にご協力頂きました。

特産品の販売では、弥富市の金魚すくいが多くの人を集めていました。



木曽三川下流地区広域観光連携協議会ブースの全景



海津市、愛西市の出店状況



弥富市による金魚すくい



木曽三川下流地区広域観光連携協議会アンケート実施状況

2. 太鼓の達人

木曽岬町役場2階の町民ホールでは、バンダイナムコエンターテインメントによる「太鼓の達人」が行われました。

四日市の会場と回線をつなぎ、対戦が行われました。家族連れを中心に多くの方に参加頂き、対戦を楽しんでいました。



対戦の様子



キャラクターバルーンによる誘導

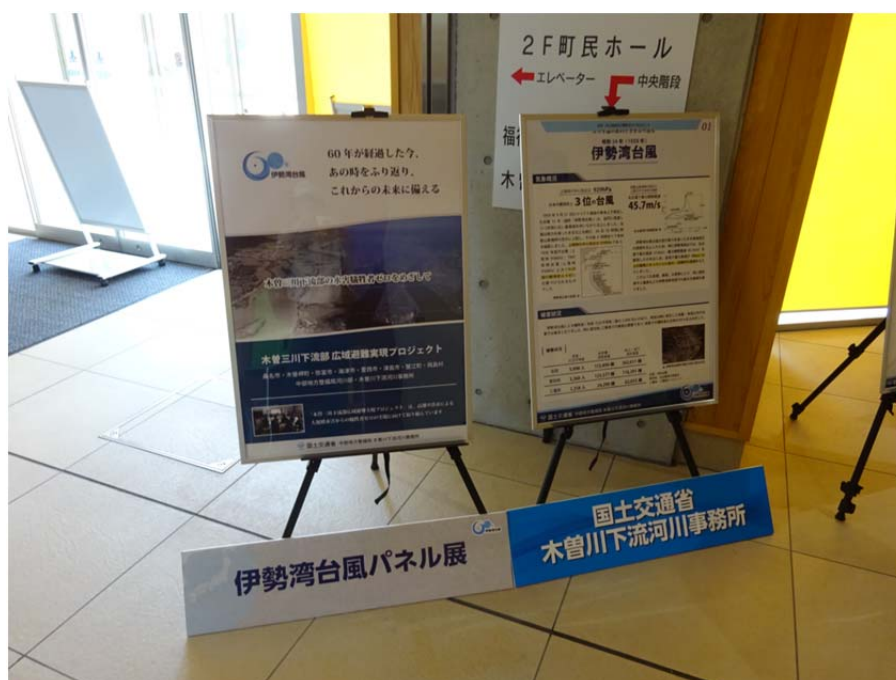
3. その他

社会実験に合わせて、各種展示、体験会等が行われました。

木曽岬町庁舎内では、プログラミング体験や桑名工業高校によるものづくり体験、国交省による伊勢湾台風パネル展など、福祉教育センター前ではドリフトトライク試乗会やドローン飛行体験などが行われ、多くの人が楽しんでいます。



プログラミング体験、ものづくり体験



伊勢湾台風 資料展示



ドリフトトライク試乗会



ドローン体験会ブース

夕方からは毎年恒例のやろまい夏まつりが開催されました。気温が下がって涼しくなってきたこともあり、多くの方が訪れ、盆踊り等を楽しんでいました。



盆踊り



菓子まき

4. あとがき

今回の社会実験は、毎年木曽岬町で実施されているやろまい夏まつりと合わせて、公衆Wi-Fiとキャッシュレスの活用可能性を検証するために開催しました。

当日は1日晴れ渡り、気温も上昇したため、日中の人出は少なかったですが、気温が下がった夕方以降は多くの方に来場頂き、盛況を収めることができました。

一方で公衆Wi-Fiやキャッシュレスの利用者は来場者の1割程度でした。キャッシュレス決済は、出店者側から見るとメリットが大きいものの、普及率が低いことが課題とされており、今後の普及に向けて、安全性、利便性の観点から検討すべき改善点も多く残されました。

本社会実験の開催にあたっては、マルシェ運営全般に携わって頂いたモルタンマルシェさん、太鼓の達人にご協力頂いたバンダイナムコエンターテインメントさん、新聞紙面で広報頂いた株式会社くわな新聞社さん、その他多くの方のご協力を頂きました。ご協力頂いた皆様には、厚く御礼申し上げます。

引き続き、木曽三川下流地区の広域観光連携にご支援ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い致します。

令和2年2月

木曽三川下流地区広域観光連携協議会 事務局
国土交通省 木曽川下流河川事務所 河川公園課
木曽岬町